

News Release

2019年4月22日

報道資料

パイオニアのクラウド型運行管理サービス「ビークルアシスト」が ドコマップ日本の「docomap Eye」に採用

パイオニアのクラウド型運行管理サービス「ビークルアシスト」が、株式会社ドコマップジャパン(本社:東京都港区、代表取締役 浦島一裕、以下「ドコマップジャパン」)の車両位置情報管理サービス「docomap Eye」に採用されました。

ドコマップジャパンの「docomap Eye」は、GPSで捕捉した配送車両の位置情報を同社のサーバーに集約し、国内全域で空車になっている配送車両の位置をリアルタイムでマップ上に表示するクラウドサービスです。同サービスは、物流の需要と供給を媒介することで、一般的に約30%といわれている運送業界における平均空車率の低減を目指しています。

当社の運行管理クラウドサービス「ビークルアシスト API」および「通信ドライブレコーダー」と同サービスを連携させることにより、リアルタイムな配送車両の位置、状況把握に加え、各車両の危険運転などの走行状況を録画した映像の確認が可能になり、事故削減や安全運転の推進を図れます。

パイオニア 業務用カーソリューション HP : <https://pioneer-carsolution.jp/>

■クラウド型運行管理サービス「ビークルアシスト」について

自動日報作成機能などによる運行業務の“管理”はもちろん、カーナビやスマートフォンを使ってドライバーに訪問先を指示するなど、運行業務の“支援”も可能な先進のクラウド型運行管理サービスです。業種やニーズに合わせて選べる“パッケージサービス”の提供のほか、既にお客様が保有されている配車計画システムや、サービス事業者様が提供するクラウドサービスと連携可能な“ビークルアシスト API*サービス”を提供しています。

※ API(Application Programming Interface)は、コンピュータープログラムで作成された機能を外部のプログラムから利用するための仕様。

—通信ドライブレコーダー「TMX-DM02-VA」

事故や危険運転時の鮮明な動画を通信で自動送信するほか、ヒヤリハット地点の案内や長時間運転警告など、事故リスクの軽減に貢献する通信型ドライブレコーダーです。クラウド型運行管理サービス「ビークルアシスト」と連携し、シンプルな運用で事故の削減に貢献します。

詳しくは当社 HP をご覧ください。

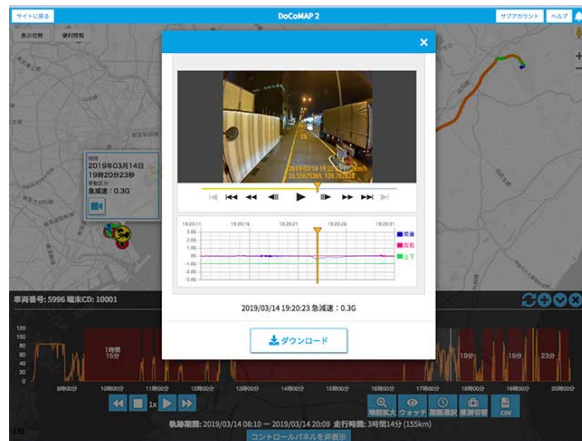
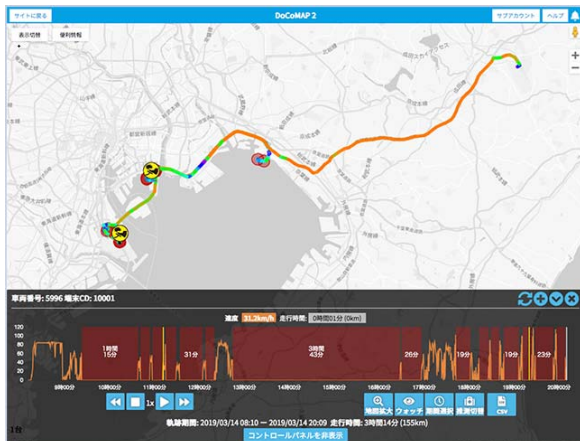
<https://pioneer-carsolution.jp/cloud/tmx-dm02-va/>



■株式会社ドコマップジャパンについて

2017年8月設立。NTTドコモの「かんたん位置情報サービス」を利用した、運送業に特化した車両動態管理システム「DoCoMAP」を開発。トラックの空車情報をリアルタイムで共有できるポータルサイト「docomap JAPAN」と連携させ、運送業界の空車回送率を低減するソリューションを提供しています。

ドコマップジャパン HP : <https://www.docomap.jp/>



【配送車両の位置・状況把握(左)や、ドライブレコーダーで撮影した映像確認(右)が可能】

※商品とサービスに関するお問い合わせ先※
業務用カーソリューション/contactセンター : TEL 0120-337-018 (無料)